

ポータブルミニディスク レコーダー

取扱説明書/Operating Instructions

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の
取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、
製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管して
ください。



MZ-R4ST

ソニー株式会社 〒141 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

東京(03)5448-3311 名古屋(052)232-2611 大阪(06)539-5111

主な特長

本機はソニーが開発したミニディスクフォーマットを採用したポータブルミニディスクレコーダーです。

- **ステーションシステム**
本機は、ポータブルMDレコーダーとワンタッチで脱着が可能なステーションがセットになっています。デジタル録音やタイトル編集は本体をステーションにセットして、再生やマイク録音は本体のみでと、目的に応じて使い分けることができます。
- **光デジタル入/出力端子装備**
音声をデジタル信号のままでもやり取りするので、ノイズやひずみの少ない高音質の編集が行えます。
- **サンプリングレートコンバーター内蔵**
ステーションにBSチューナーやDATなどのデジタル機器をつないで、デジタル信号のまま録音・編集することができます。
- **モノラルモードでの長時間録音**
最大148分まで録音ができます。
- **大型表示パネルによる快適編集**
ステーションの大型表示パネルとカーソルキーを使って、タイトル名の入力が快適に行えます。
- **文例集を内蔵**
タイトル名や曲名作りに便利な文例集を42種類用意しました。
- **カナ文字対応**
タイトル名、曲名に英数字、記号に加えてカタカナが使えます。

- **現在位置を表示するポジションポインター**
再生位置や録音位置が表示パネルで確認できます。
- **デート機能**
録音した日時を自動的に記録します。
- **タイトル表示機能**
ディスク名や曲名をステーションの表示パネルや付属のリモコンの表示で見ることができます。

ご注意

- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- ポータブルミニディスクレコーダーの不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償についてはご容赦ください。

MD WALKMANは、ソニー株式会社の商標です。

☞ は知っている便利な情報のマークです。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。
(お問い合わせ先 (社)私的録音補償金管理協会 Tel.03-5353-0336)



警告

安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

6～9ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



- ① 電源を切る
- ② 電源プラグをコンセントから抜く
- ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理を依頼する

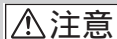
警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



接触禁止

行為を指示する記号



プラグをコンセントから抜く

目次

⚠ 警告・⚠ 注意	6
-----------------	---

ここだけ読んでも使えます

録音する	10
-------------	-----------

再生する	12
-------------	-----------

いろいろな録音のしかた

マイクで録音する	14
長時間録音する(モノラル録音).....	14
手動で録音レベルを調節する(マニュアル録音)...	15
残りの時間や録音位置を調べる	16
録音日時を記録する(時計合わせ).....	17

いろいろな再生のしかた

ステーションで再生する	19
くりかえし聞く(リピート再生).....	19
低音を強調する(BASS BOOST) <small>ベースブースト</small>	20
音もれを抑える(音量リミット-AVLS).....	20
残り時間や再生位置を調べる	21
誤動作を防ぐ(ホールド機能).....	22

録音したミニディスクを編集する

編集する前に	23
曲を消す	23
1曲を消す	23
全曲を消す	23
頭出しマーク(曲番)をつける	24
頭出しマーク(曲番)を消す	24
曲順を変える(ムーブ).....	25
曲名やディスク名をつける	26

接続と電源

録音の接続—CDプレーヤーなどにつなぐ	27
デジタル録音のための接続	27
アナログ録音のための接続	28
再生の接続	
—アンプやアクティブスピーカーなどにつなぐ	28
デジタル機器への接続	28
アナログ機器への接続	29
電源について	29
家庭用電源(コンセント)で使う	29
リチウムイオン電池を充電する	30
乾電池/ニッケル水素電池で使う	31
各電池の持続時間	32

その他

使用上のご注意	33
故障かな?と思ったら	34
システム上の制約による症状と原因	37
エラー表示一覧	38
保証書とアフターサービス	40
主な仕様	41
解説	43
各部のなまえ	45

Operating Instructions

Operating Instructions	52
------------------------------	----



下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**大けが**の原因となります。

運転中は使用しない

- ・自動車、オートバイなどの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。
- ・また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に十分にご注意ください。



禁止

内部に水や異物を入れない

水に異物が入ると火災や感電の原因になります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。



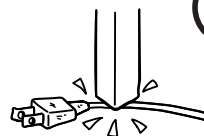
禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- ・電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- ・重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- ・熱器具に近づけない。加熱しない。
- ・電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口で交換をご依頼ください。



禁止

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や

直射日光のあたる場所には置かない

火災や感電の原因になることがあります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。



禁止

海外で使用しない

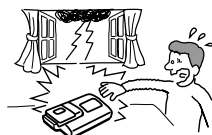
交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。



接触禁止

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

感電の原因となります。



接触禁止

ガス管にアース線やアンテナ線をつながない

火災や爆発の原因となります。

⚠️ 注意

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

内部を開けない

感電の原因となることがあります。
内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。



ぬれた手で電源プラグをさわらない

感電の原因となることがあります。



移動させるとき、長時間使わないときは、

電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因になります。



お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度もじゅうぶんに確認してください。





つづき

はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、MD、CDやDATなど、雑音の少ないデジタル機器をヘッドホンで聞くときにはご注意ください。

通電中のACパワーアダプターや充電器、充電中の電池や製品に長時間ふれない

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因になることがあります。

通風孔をふさがない

布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上または壁や家具に密接して置いて、通風孔をふさがないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。



禁止

大音量で長時間続けて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるぐらいの音量で聞きましょう。



禁止

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。種類によっては該当しない注意事項もあります。

充電式電池
ニカド

(Ni-Cd)

ニッケル水素

(Ni-MH)

リチウムイオン

(Li-ion)

乾電池

アルカリ

マンガン

ボタン型電池

リチウムなど

危険 (この項目は充電式電池のみ適用となります)

- 指定された充電器以外で充電しない。
- 火の中に入れてない。ショートさせたり、分解、加熱しない。コインやヘヤーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管するとショートすることがあります。
- リチウムイオン電池は火のそばや炎天下などで充電したり、放置しない。
- 充電式電池に貼ってあるビニールをはがしたり、傷つけない。

警告

- ボタン型電池は幼児の手の届かないところに置く。万一飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。
- 火の中に入れてない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 乾電池は充電しない。
- 指定された種類の電池を使用する。

注意

- + と - の向きを正しく入れる。
- 電池を使い切ったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

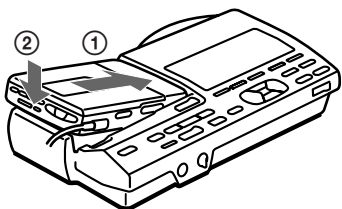
もし電池の液が漏れたときは、電池入れの液をよくふきとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が体についたときは、水でよく洗い流してください。

お願い

使用済みニカド電池は貴重な資源です。端子(金属部分)にテープを貼るなどの処理をして、ニカド電池リサイクル協力店にご持参ください。

ここではステーションにつないだ機器から録音する方法を説明します。「接続と電源」(27ページ)をご覧ください。接続を行っておいください。本体のマイク端子を使った録音については「マイクで録音する」(14ページ)をご覧ください。

1 本体をステーションに取りつける



- ① 右側を先に置く。
- ② カチッと音がするまで押しつける。

ご注意

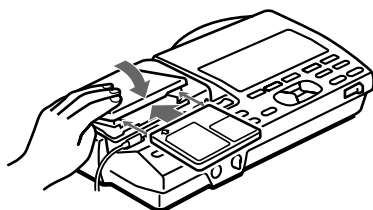
取りつけは正しく行ってください。無理に押しつけたりすると故障の原因となります。

2 録音用ミニディスクを入れる

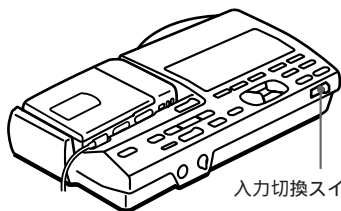
- ① 開くスイッチを右にずらし、手でふたを開ける。
- ② ディスクのラベル面を上にして奥まで押し入れ、ふたを閉める。



開くスイッチ



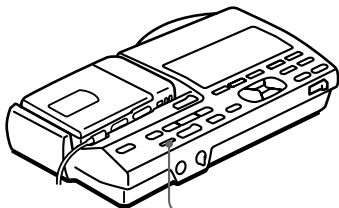
3 録音する機器を選ぶ



入力切換スイッチ

入力切換スイッチを、録音する機器をつないだ端子に合わせる。
デジタル(光)入力端子のときは、「デジタル(光)」に
入力端子のときは、「アナログ」に

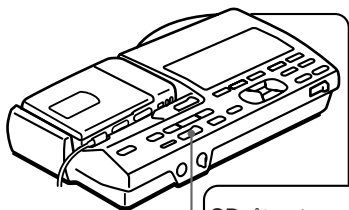
4 録音開始位置を選ぶ



エンドサーチボタン

すでに録音されている内容の後ろに録音するときは、エンドサーチを押す。
(ディスクの最初から録音を始めるときはこの手順は不要です。)

5 録音する



録音スイッチ

CDプレーヤー、ラジカセなど(再生側の機器)

① 録音スイッチを右にずらす。
「REC」表示が点灯し、録音が始まります。

② 録音したいCDやテープを再生する。

止めるには、ボタンを押す。

ご注意

「TOC EDIT」表示の点滅中は、衝撃を与えたり電源を抜いたりしないでください。

こんなときは	操作
一時停止する	⏸ を押す。*もう一度押すと解除されます。
録音した内容の途中から新しく録音する	▶、▶▶ または ◀◀ を押して録音を始めたい位置で ▶ を押す。次に録音スイッチを右にずらす。
ディスクを取り出す	■ を押してから本体の開くスイッチをずらしてふたを開ける。**
電源を切る	電源スイッチを押す。

* 一時停止したところで曲番が1つ増え、そこから次の曲として記録されます。

** ふたを開けると、次の録音はディスクの最初から始まります。

録音が始められないときは

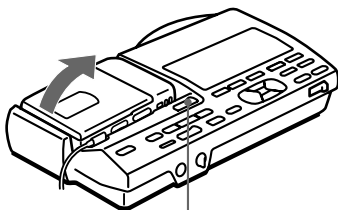
ディスク誤消去防止つまみが開いていると録音はできません。つまみを元に戻してください。また、再生専用のミニディスクは録音できません。



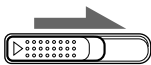
- 録音される音の大きさは自動的に調節されます。
- 停止中に5分間何も操作しないと自動的に電源が切れます。再び電源を入れるときは電源スイッチや▶ボタンを押してください。

ここでは主にステーションからはずした本体のみの再生方法を説明します。本体には、あらかじめ乾電池や充電電池を入れておいてください。「電源について」(29ページ)もあわせてご覧ください。

1 ステーションから本体をはずす



本体取りはずしスイッチ



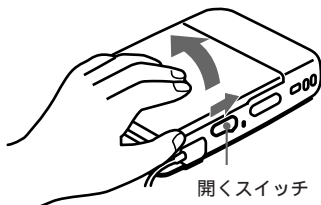
- ① 本体取りはずしスイッチを右にずらして取りはずす
- ② リモコン付きヘッドホン(付属)をつなぐ
Ⓜ/リモコンへつなぎます。

ご注意

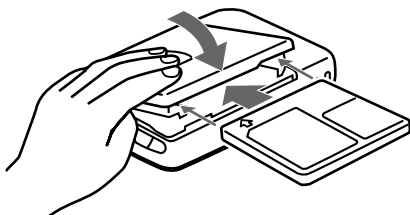
ステーションに電源コードが接続されていることを確認してください。

2 ミニディスクを入れる

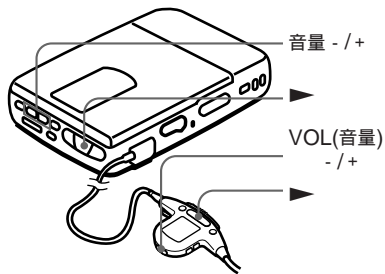
- ① 開くスイッチを右にずらし、手でふたを開ける。
- ② ディスクのラベル面を上にして奥まで押し入れ、ふたを閉める。



開くスイッチ



3 聞く



① ▶を押す。
リモコンで操作すると「ピ」と確認音がします。

② 音量 -/+ を押して音量を調節する。
表示窓で音量を確認できます。

止めるには、■を押す。
リモコンで操作すると「ピー」と確認音がします。

こんなときは	操作(リモコンの確認音)
一時停止する	⏸を押す(ピ・ピ・ピ) もう一度押すと解除されます。
今聞いている曲を頭出しする	⏮を短く押す(ピピピ)
次の曲を頭出しする	⏭を短く押す(ピピ)
再生しながら早戻しする ¹⁾	⏮を押し続ける
再生しながら早送りする ¹⁾	⏭を押し続ける
ディスクを取り出す	を押して、本体の開くスイッチをずらしてふたを開ける ²⁾

¹⁾ 一時停止(⏸)して⏮または⏭を押し続けると、再生音を聞かずに高速で早送りや早戻しができます。

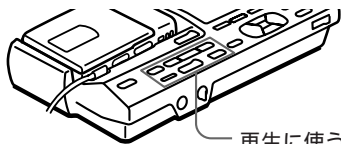
²⁾ ふたを開けると、次の再生はディスクの最初から始まります。

再生が始められないときは
ホールド(誤操作防止状態)になっていません
か(22ページ)。



ステレオ/モノラルは自動的に切り換わり
ます。

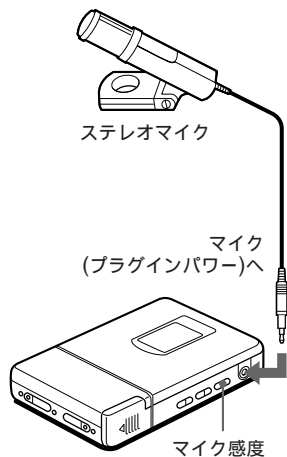
ステーションにとりつけたままでも
再生できます。
「ステーションで再生する」(19ページ)
をご覧ください。



再生に使うボタン

マイクで録音する

本体に別売りのステレオマイクECM-717、ECM-909Aなどをつないで録音します。本体はマイクとつながないと録音できません。



- 1 マイク感度を切り換える。
通常は「高」側に合わせます。ライブ録音など大音量を録音するときには、「低」側に合わせてください。
- 2 録音用ミニディスクを入れ、録音を始める。
録音スイッチの中央のボタンを押しながら右にずらします。その他の操作は「録音する」をごらんください。ステーションと同じ名称のボタンは、同じはたらきをします。

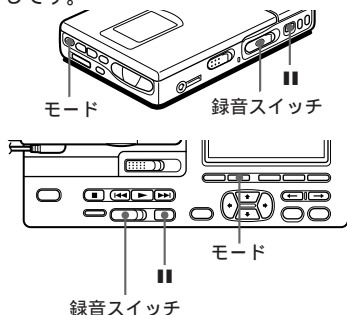


長時間の録音はステーションに取りつけて行うことをおすすめします。このときは入力切替スイッチを「アナログ」に切り換え、ステーションにある録音ボタンで録音を始めてください。

長時間録音する

(モノラル録音)

一枚のディスクに通常の録音の倍の時間録音ができます。ただし音の臨場感は損なわれますので、目的に応じて選んでください。本体のみでも、ステーションに本体を取りつけた状態でも操作手順は同じです。



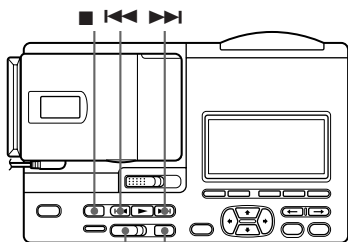
- 1 録音スイッチの中央のボタンを押しながら録音スイッチを右にずらし、録音一時停止にする。
- 2 モードボタンを押し、モノラル録音にする。
表示窓に「MONO」が表示されます。
- 3 録音スイッチの中央のボタンを押し、録音を始める。
- 4 録音する音を出す。



- 長時間の録音はステーションに取りつけて行うことをおすすめします。
- 録音スイッチの中央のボタンを押し、録音をとめると、次の録音からはステレオ録音に戻ります。
- デジタル/光入力から録音するとき、ステレオで送られる音をモノラルで録音すると、左チャンネルの音のみが録音されます。
- 本機でモノラル録音した内容は、他のモノラル再生に対応していない機器では再生できません。

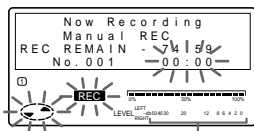
手動で録音レベルを調節する(マニュアル録音)

アナログ入力から録音するときは、録音レベルは最適な値になるように自動的に調整されますが、必要に応じて手動で調整できます。本体のみでも、ステーションに本体を取りつけた状態でも操作手順は同じです。ステーションで録音するときは、あらかじめ入力切換スイッチを「アナログ」に合わせておいてください。



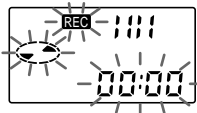
- 1 ■ボタンを押しながら、2秒間録音スイッチを右にずらしたままにする。
録音レベルが表示されます。

ステーション表示パネル



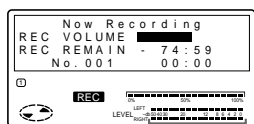
録音レベルメーター

本体表示窓



- 2 録音したい音を出す。
- 3 表示窓を見ながら▶▶(+)または◀◀(-)を押して録音レベルを調節する。
ステーション表示パネルでは平均的な音の大きさのときに12(- dB)くらいになるように合わせます。

ステーション表示パネル



音量小 | 音量大
レベル表示

本体表示窓では平均的な音の大きさのときにバー表示が4本ぐらいに合わせます。

本体表示窓



- 4 ■ボタンを押して録音を始める。

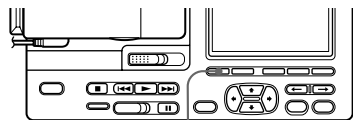


- ■ボタンを押して録音を止めると、次の録音からは自動レベル調節に戻ります。
- 録音を始めると録音レベルは調節できなくなります。必ず手順4の前に行ってください。
- マイクで録音するときは、必要に応じてマイク感度を切り換えてください。(14ページ)

残り時間や録音位置を調べる

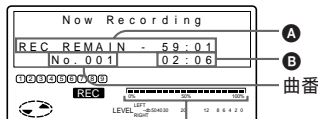
ステーションの表示パネルや本体の表示窓、リモコンの表示窓で残り時間などの情報を確認できます。

ステーション表示パネルで調べる



表示

- 表示ボタンを押す。
押すたびに、各表示窓の内容が次の表のように変わります。



ポジションポインター
(現在の録音位置)

録音中

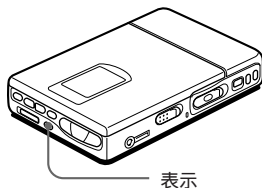
A	B
録音できる残り時間	経過時間
現在時刻と年月日*	経過時間
*時計が合わせてあるときのみ	

停止中

A	B
-	経過時間
録音できる残り時間	経過時間
ディスク内の曲の残り時間	表示中の曲の残り時間
現在時刻と年月日*	経過時間
*時計が合わせてあるときのみ	

本体表示窓で調べる

ステーションに取り付けられているときは本体表示窓には何も表示されません。



表示

- 表示ボタンを押す。
押すたびに、各表示窓の内容が次の表のように変わります。



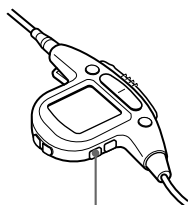
録音中

A	B
曲番	経過時間
-	録音できる残り時間
現在の年	月日
-	現在時刻*
*時計が合わせてあるときのみ	

停止中

A	B
曲番	経過時間
-	現在の位置から録音できる残り時間
残り曲数	再生できる残り時間
現在の年	月日
-	現在時刻*
*時計が合わせてあるときのみ	

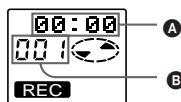
リモコン表示窓で調べる



DISPLAY

1 DISPLAYボタンを押す。

押すたびに、各表示窓の内容が次の表のように変わります。ただし、ステーションに本体を取りつけているときはボタンを押しても曲番と経過時間の表示のままです。



録音中

A	B
経過時間	曲番
録音できる残り時間	曲番

停止中

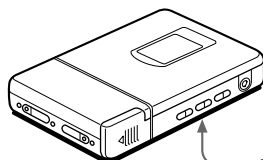
A	B
経過時間	曲番
録音できる残り時間	曲番
曲名**	曲番
ディスク名**	ディスクに録音されている曲数

**記録されている時のみ

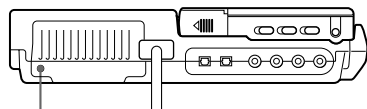
録音日時を記録する

(時刻合わせ)

時計を合わせておくと、録音のさいに録音日時が記録されます。本体の時計を合わせてステーションに取りつくと、ステーションの時計は本体の時計と同時刻になります。



時計合わせ
(底面)

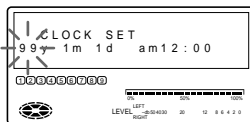


時計合わせ

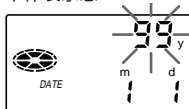
1 時計合わせボタンを押す。

シャープペンの先など細いもので押してください。年の数字が点滅します。

ステーション表示窓



本体表示窓



次ページへつづく

いろいろな録音のしかた

2 ◀◀または▶▶ボタンを押して年を合わせる。

ボタンを押し続けると早く進みます。

3 ▶またはカーソル を押して確定する。

月の数字が点滅します。

4 手順2、3をくりかえして月、日、時、分を合わせる。

分を合わせて▶ボタンを押すと、時計が0秒からスタートします。

本体内蔵の時計用電源を充電してください

初めてお使いになるときや、長い間お使いにならなかったときは、本体内蔵の時計用充電電源を充電してください。ステーションに本体を取りつけて約2時間充電します。その後は、電源が見つからないであれば、自動的に充電されるので、あらためて充電する必要はありません。電源がなくても、時計用電源は約1カ月間持続します。

途中で間違えたときは

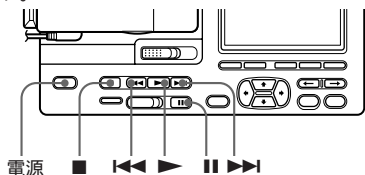
■ボタンを押し、もう一度はじめからやり直してください。変更する必要のない数字は▶ボタンを押して先に進めてください。

時計を24時間表示に変えるには

時計合わせ中に表示ボタンを押します。もう一度押すと12時間表示に戻ります。

ステーションで再生する

本体をステーションに取りつけたとき(10ページ)は、次のボタンで再生します。



こんなときは	操作
再生する	▶を押す
一時停止する	を押す もう一度押すと解除されます。
今聞いている曲を頭出しする	◀◀を短く押す
次の曲を頭出しする	▶▶を短く押す
再生しながら早戻りする ¹⁾	◀◀を押し続ける
再生しながら早送りする ¹⁾	▶▶を押し続ける
ディスクを取り出す	を押してから 本体の開くスイッチを ずらしてふたを開ける ²⁾
電源を切る	電源スイッチをずらす

- ¹⁾ 一時停止 (||) して◀◀または▶▶を押し続けると、再生音を聞かずに高速で早送りや早戻しができます。
- ²⁾ ふたを開けると、次の再生はディスクの最初から始まります

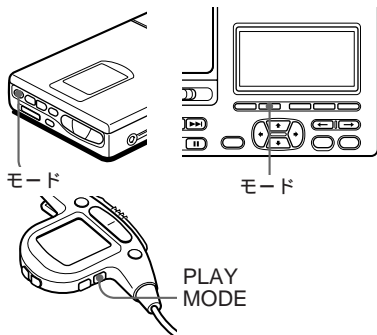
ご注意

- 本体につないだヘッドホンの音量はリモコンの音量ボタンで調節してください。
- 停止中に5分間も操作しないと自動的に電源が切れます。再び電源を入れるときは電源スイッチや▶ボタンを押してください。

くりかえし聞く

(リピート再生)

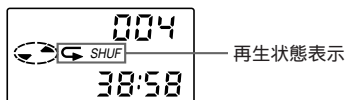
ディスク全曲のリピート、1曲のリピート、シャッフルリピートの3通りの方法があります。



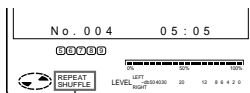
いろいろな再生のしかた

- 1 再生中にモード(リモコンはPLAY MODE)ボタンを押す。押すたびに次のように変わります。

本体表示窓



ステーション表示パネル



再生状態表示

リモコン表示窓



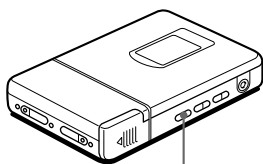
本体・リモコン の表示	ステーション の表示	再生状態
-	-	通常の再生
↶	REPEAT	ディスク全曲 をくりかえし 再生
↶ 1	REPEAT1	再生中の曲を くりかえし 再生
↶ SHUF	REPEAT SHUFFLE	全曲を順不同 に並べかえて 再生し、さら にくりかえし並 べかえて再生

低音を強調する

ベースブースト

(BASS BOOST)

低音域が強調された迫力のある再生が楽しめます。この機能は、本体に接続されたヘッドホンに対してのみ働きます。



低音調整

- 1 低音調整スイッチを「1」または「2」に合わせる。
1(弱) 2(強)の2段階のベースブースト効果が働きます。

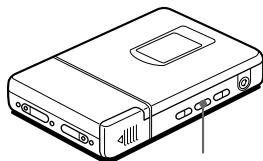
ご注意

- ベースブーストを使っているときに音量を上げすぎると、音が割れたり、ひずんだりすることがあります。その場合は音量を下げてください。
- 録音中にベースブーストを切り換えても、録音される音には影響はありません。

音もれを抑える

(音量リミット-AVLS)

音量の上げすぎによる音もれや、耳への圧迫感、周囲の音が聞こえないことへの危険を少なくし、より快適な音量で聞くことができます。この機能は、本体に接続されたヘッドホンに対してのみ働きます。



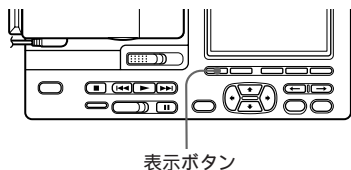
音量リミット

- 1 音量リミットスイッチを「入」にする。
表示窓に「AVLS」が表示されます。音量が一定のレベル以上に上がらなくなります。

残り時間や再生位置を調べる

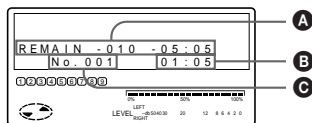
ステーションの表示パネルや本体の表示窓、リモコンの表示窓で曲名・ディスク名などの情報を確認できます。

ステーション表示パネルで調べる



- 1 表示ボタンを押す。
押すたびに、各表示窓の内容が次の表のように変わります。

ステーション表示パネル

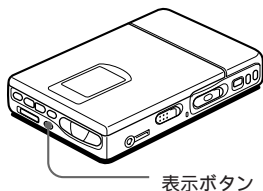


A	B	C
-	経過時間	曲番
残り曲数と残り時間	その曲の全残り時間	曲番
録音日時表示	時刻*	年月日*

* 時計合わせをしないで録音したときや、録音日時が記録されていないときは「--y--m--d」と「--:--」になります。

本体表示窓で調べる

ステーションに取り付けられているときは本体表示窓には何も表示されません。



- 1 表示ボタンを押す。
押すたびに、各表示窓の内容が次の表のように変わります。

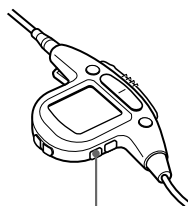


A	B
曲番	経過時間
曲番	その曲の残り時間
残り曲数	残り時間
録音した年*	月日*
-	録音した時刻*

* 時計合わせをしないで録音したときや、録音日時が記録されていないときは「--y--m--d」と「--:--」になります。

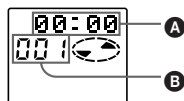
いろいろな再生のしかた

リモコン表示窓で調べる



DISPLAYボタン

- 1 DISPLAYボタンを押す。
押すたびに、各表示窓の内容が次の表のように変わります。



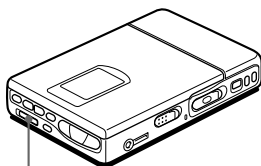
A	B
経過時間	曲番
曲名*	曲番
ディスク名*	曲数

* 記録されているときのみ

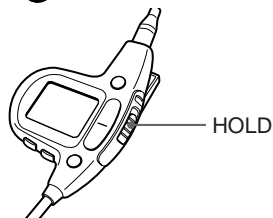
誤動作を防ぐ

(ホールド機能)

カバンに入れて使うときなどに、誤ってボタンが押されるのを防ぎます。



ホールド



- 1 ホールド (リモコンはHOLD) スイッチを \rightarrow 方向にずらす。
本体のホールドスイッチは本体の操作ボタンが、リモコンのHOLDスイッチはリモコンの操作ボタンが働かなくなります。逆方向にずらすと、解除されます。



本体をステーションに取りつけているときは本体のホールド機能は働きません。リモコンのホールド機能は働きます。

編集する前に

ミニディスクに頭出しマーク(曲番)をつけたり、曲名やディスク名をつけたりすることができます。ただし、再生専用ミニディスクの編集はできません。次の点にご注意ください。

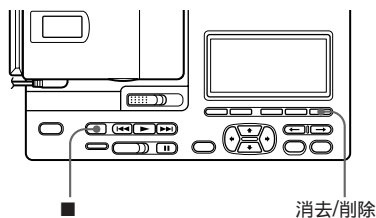
ご注意

- ・「TOC EDIT」表示の点滅中は、衝撃を与えたり電源を抜いたりしないでください。
- ・誤消去防止つまみが開いているディスクでは、曲を消すことができません。つまみをもとに戻してください。

曲を消す

1曲を消す

一度消した曲は元に戻すことができません。消す前に、曲の内容をよく確認してください。



- 1 消したい曲の再生中に、消去/削除ボタンを押す。

1曲リピート再生になり、表示窓に「Erase OK? Push Erase」と表示されます。消すのを中止するときには、■ボタンを押します。

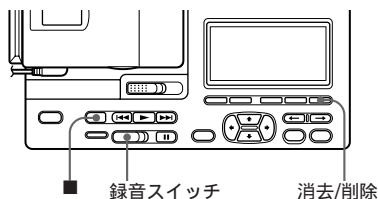
- 2 表示窓で曲番を確認し、もう1度消去/削除ボタンを押す。
曲が消去され、次の曲の再生になります。消した曲より後の曲番は1つずつくり上がります。

曲の一部分を消すには

無音部分など不要な部分だけを消したいときは、不要な部分の始まりと終わりに頭出しマークをつけて(24ページ)その部分を消してください。

全曲を消す

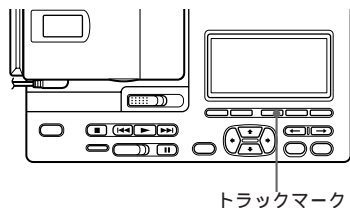
ディスク上の全ての曲を消します。一度消したディスクは元に戻すことができません。必ずディスクの内容を確認しておいてください。



- 1 停止中に、消去/削除ボタンを押しながら録音スイッチを右にずらす。
表示窓に「All Erase? Push Erase」が表示されます。消すのを中止するときには、■ボタンを押します。
- 2 もう1度消去/削除ボタンを押す。
「TOC EDIT」表示が点滅し、全曲が消去されます。消去が終わると「BLANK DISC」と表示されます。

頭出しマーク(曲番)をつける

曲の途中に頭出しマークをつけて、そこから後ろを次の曲にすることができます。曲番は次のようになります。



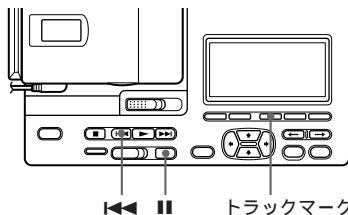
- 1 再生中または再生一時停止中に、マークをつけたい位置でステーションのトラックマークボタンを押す。
「Track Mark ON」が表示され、曲番が1つ増えます。そこから次の曲として記録されます。

録音中にマークをつけることもできます

録音中にトラックマークボタンを押してください。また、本体のトラックマークボタン、リモコンのTRACK MARKボタンを使うこともできます。ただし、リモコンは録音時のみです。

頭出しマーク(曲番)を消す

入力端子やマイク端子から録音したときは、静かな音が続く部分などに不要な頭出しマークがつくことがあります。その場合は、頭出しマークを消すと、前後の曲を1つの曲にまとめることができます。曲番は次のようになります。



- 1 曲番を消したい曲を再生し、|| ボタンを押して再生一時停止にする。
- 2 <<< ボタンを短くチョンと押して、曲の先頭(00:00)にする。たとえば、2曲目と3曲目をつなげたいときは、3曲目の先頭にします。

3 ステーションのトラックマークボタンを押す。

「Track Mark OFF」が表示され、指定した曲が前の曲につながりません。

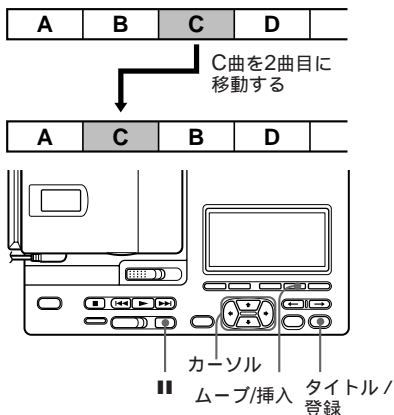
本体のトラックマークボタンを使うこともできます。



録音日時や曲名は、つないだ2曲の1曲目のものになります。

曲順を変える(ムーブ)

曲を移動して、曲順を変更できます。
例:C曲を2曲目に移動するとき



- 1 移動したい曲の再生または再生一時停止中に、ムーブ/挿入ボタンを押す。

上記の例では表示窓に「Move No.003 No.003」と表示されません。

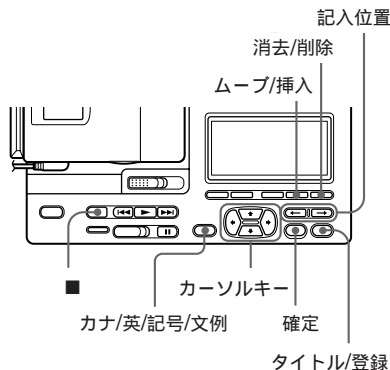
- 2 カーソルボタンを押して、移動先の曲番を指定する。

または を押すと前の曲番に、または を押すと後の曲番になります。ムーブを中止するときは■ボタンを押します。

- 3 タイトル/登録ボタンを押す。
指定した曲の前に移動したい曲が移ります。

曲名やディスク名をつける

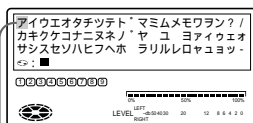
録音した曲の曲名やディスク名をそれぞれ200文字までつけることができます。1枚のディスクには英数字/記号で約1700文字、カナ文字のみで約800文字まで入力できます。



1 曲名をつけるときは、その曲を再生する。ディスク名をつけるときは、そのディスクを入れる。すでに入っているディスクのディスク名をつけるときは、■ボタンを押して停止します。

2 タイトル/登録ボタンを押す。ディスク名と、カナ文字の一覧表が表示されます

3 カーソルキーで文字を選び、確定ボタンを押す。
使えるボタンと機能は以下の通りです。



カーソル

ボタン	機能
カナ/英/記号/文例	カナ アルファベット 記号と数字 文例集の順に切り替わる。
カーソルキー	文字カーソルを上下左右に移動する。
記入位置 /	記入位置を左右に移動する。
確定	選んだ文字を確定し、記入位置を右に進める。
■	タイトルをつけるのを中止する。
ムーブ/挿入	記入位置に空白を挿入する。
消去/削除	記入位置の文字を削除し、以降の文字を一文字ずつつめる。

*カタカナ入力時にカーソル を押すと、「ア」「カ」「サ」「タ」の順にカーソルが移動します。 を押すと戻ります。

4 手順3を繰り返して名前をつける。

- 5 タイトル/登録ボタンを押す。
曲名またはディスク名が付きま

途中でやめるときは

■ボタンを押します。

文例集について

よく使うディスク名、曲名またはメッセージなどを42種類用意しています。カーソル / を押すと、ページを移動します。カーソル / を押すと、カーソル (>) が上下に移動します。確定を押すと、(>) で選んだ文例集の文章を全て入力します。



カーソル

ページ表示



カナで入力したタイトルを、カナ表示に対応していないミニディスク機器で表示させると、ローマ字表記になります。その際、カナの先頭と最後に「^」が付きま

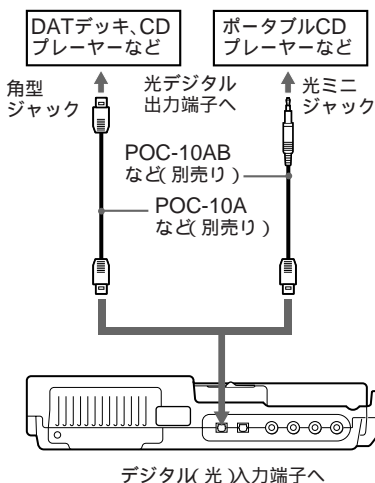
録音の接続

CDプレーヤーなどにつなぐ

他のオーディオ機器の音源を、本機で録音するための接続です。デジタル伝送とアナログ伝送の接続があります。録音の方法に応じて接続してください。

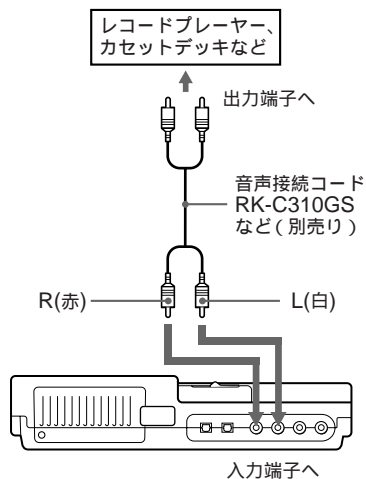
デジタル録音のための接続

本機はサンプリングレートコンバーター内蔵のため、DATデッキやBSチューナーなど、サンプリング周波数の違うデジタル機器とつないでデジタル録音できます。この接続を行ったらステーションにある入力切換スイッチを「デジタル(光)」に合わせてください。



アナログ録音のための接続

この接続を行ったらステーションにある入力切換スイッチを「アナログ」に合わせてください。

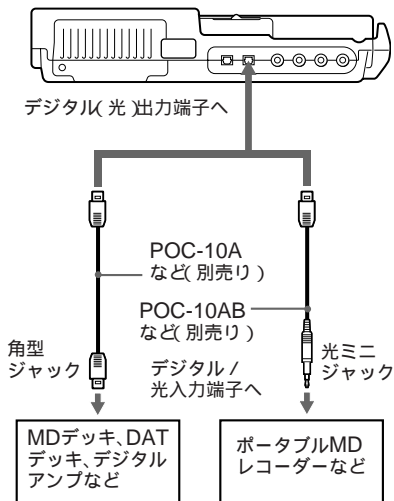


再生の接続—

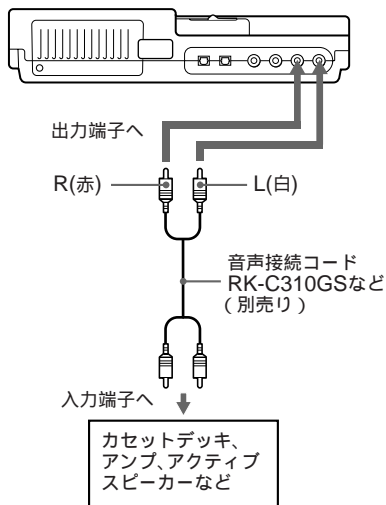
アンプやアクティブスピーカーなど とつなぐ

本機の再生音を、他のオーディオ機器で聞いたり録音するための接続です。デジタル伝送とアナログ伝送の接続があります。他の機器の種類や使いかたに応じて接続してください。

デジタル機器への接続



アナログ機器への接続



電源について

本機で使える電源は、以下の通りです。

ステーションで使うとき

- 家庭用電源(コンセント)

本体のみで使うとき

本体に入れて...

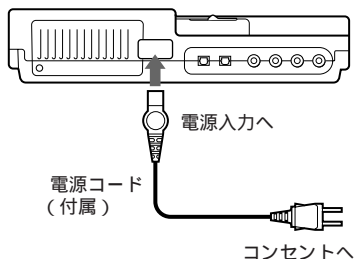
- 充電式のリチウムイオン電池
LIP-12 (H)

外付けバッテリーケースを使って

- アルカリ単3形乾電池2本
- 充電式のニッケル水素電池
BP-DM20

家庭用電源 (コンセント)で使う

ステーションは家庭用電源でのみお使い
になれます。



接続と電源

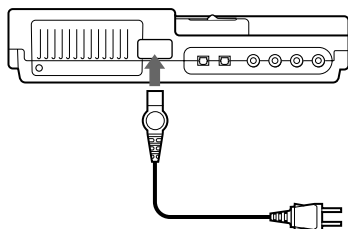
ご注意

ステーションは電源スイッチを切った状態でも、表面の温度がわずかに上昇することがありますが、故障ではありません。

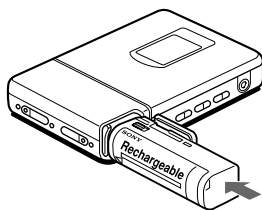
リチウムイオン電池を充電する

充電式のリチウムイオン電池LIP-12 (H) (付属)が使えます。お使いになるまえに必ず充電してください。充電はステーションでおこないます。

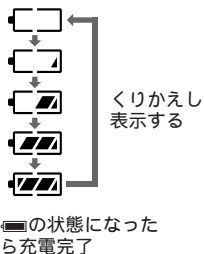
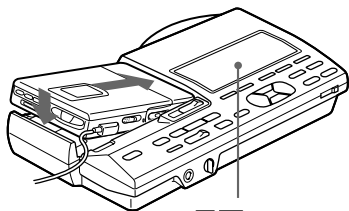
- 1 ステーションを家庭用電源 (コンセント)につなぐ。



- 2 本体に充電式リチウムイオン電池 LIP-12 (H) (付属)を入れる。



- 3 本体をステーションに取りつける。
□の表示が出て、充電が始まります。

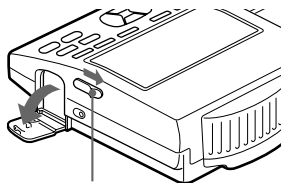


💡
電源がON、OFFいずれのときも充電されます。

ステーションのみで充電するには

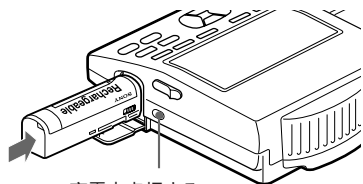
ステーションのみでもリチウムイオン電池LIP-12 (H) を充電できます。

- 1 充電電池取出しスイッチを矢印の方向にずらす。



充電電池取出し
スイッチ

- 2 リチウムイオン電池(付属)を入れて、フタをしめる。



充電中点灯する。
消えたら充電完了



本体にもリチウムイオン電池LIP-12 (H)が入っていると、本体の電池を先に充電します。その間は、ステーションの充電ランプが点滅します。

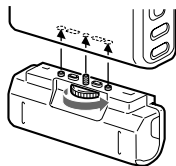
充電時間

80%充電	約2.5時間
充電完了	約5時間

乾電池 / ニッケル水素電池で使う

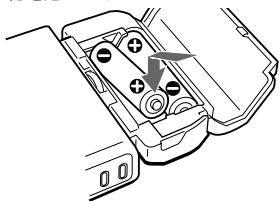
外付けバッテリーケースを使います。充電式のニッケル水素電池(別売り)で使うときは、お使いになる前に必ず専用の充電器(別売り)で充電しておいてください。

- 1 バッテリーケース(付属)を取り付ける。

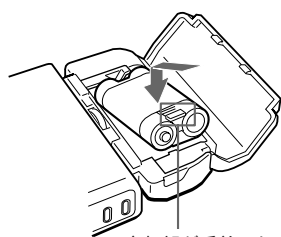


- 2 乾電池または充電したニッケル水素電池を入れる。

乾電池のとき



ニッケル水素電池のとき



突起部が手前になるように

ご注意

本機ではニッケル水素電池BP-DM20を充電できません。

各電池の持続時間


長時間録音するとき、ステーションに取りつけることをおすすめします。

	録音時	再生時
充電式リチウム イオン電池 (LIP-12 (H))	約4時間	約6.5時間
ソニーアルカリ 乾電池 LR6 (SG) 2本	約2時間	約4時間
充電式ニッケル 水素電池 BP-DM20	約2時間	約3時間
充電式リチウム イオン電池 (LIP-12 (H)) + ソニー アルカリ乾電池 LR6 (SG) 2本	約6時間	約10.5時間
充電式リチウム イオン電池 (LIP-12 (H)) + 充電式ニッケル 水素電池 BP-DM20	約6時間	約9.5時間

* 周囲の温度や使用状態により、上記の持続時間と異なる場合があります。

**録音する場合には電池の消耗による失敗を防ぐため、新しい乾電池または十分に充電した充電式電池をお使いください。

電池交換の目安について

電池が消耗すると、本体やリモコンの表示窓に「」が点滅したりまたは「Lo BATT」が表示されます。新しい電池と交換するか、充電しなおしてください。

使用上のご注意

分解しないでください

ミニディスクレコーダーに使われているレーザーが目にあたると危険です。

レンズに触れないでください

レンズが汚れると音飛びが起きたり、再生できなくなったりする場合があります。

また、ほこりがつかないように、ディスクの出し入れ以外はふたを必ず閉じておいてください。

置き場所について

次のような場所には置かないでください。

- 直射日光の当たる場所や暖房器具の近く。
- 窓を閉めきった自動車内（とくに夏季）。
- 風呂場など、湿気が多いところ。
- ほこりが多いところ。
- 磁石、スピーカーボックス、テレビなど磁気を帯びたものの近く。

温度上昇について

本機は電源スイッチを切った状態で、表面の温度が多少上昇することがありますが、故障ではありません。

操作中の動作音について

本機は省電力の動作方式になっています。そのため、動作中は断続的に動作音がしますが故障ではありません。

表面のお手入れについて

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面をいためますので使わないでください。

リモコンプラグのお手入れについて

リモコンプラグが汚れていると雑音や音飛びの原因になることがあります。常によい音でお聞きいただくために、リモコンの先端のプラグ部をときどき柔らかい布でからぶきしてください。

ミニディスクの取り扱いについて

ミニディスク自体はカートリッジに収納され、ゴミや指紋を気にせず手軽に扱えるようになっています。ただし、カートリッジのよごれや反りなどが誤動作の原因になることもあります。いつまでも美しい音で楽しめるように次のことにご注意ください。

- ミニディスクに直接触れない
シャッターを手で開けないでください。無理に開けるとこわれます。



- 置き場所について
直射日光があたるところなど温度の高いところや湿度の高いところには置かないでください。また、砂浜など、ディスクに砂が入る可能性があるところには放置しないでください。
- 定期的にお手入れを
カートリッジ表面についたほこりやゴミを、乾いた布でふきとってください。
- 充電端子の汚れは
乾いた布でふきとってください。

万一故障した場合は、内部を開けずに、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

故障かな？と思ったら

サービス窓口にご相談になる前にもう一度チェックしてみてください。

症状	原因	処置
操作を受けつけない	ホールド機能が働いている (本体の操作ボタンを押すと 「HOLD」表示が出る)。	HOLDスイッチ矢印と逆の方向に してホールド機能を解除する (22 ページ)。
	結露 (内部に水滴が付着) してい る。	ディスクを取り出して、そのまま 数時間おく。
	電源コードがしっかり差し込ま れていない。	電源入力とコンセントにしっかり 差し込む。
	充電電池または乾電池が消耗して いる (☐ または「Lo BATT」 表示が点滅)。	充電電池を充電するか、乾電池を2本 とも交換する (30ページ)。
	本体をステーションにしっかり 取りつけていない。	正しく取りつける (10ページ)。
	乾電池が正しく入れられていな い。	乾電池の⊕端子と⊖端子を正しく 入れなおす (31ページ)。
	何も録音されていないディスク が入っている (「BLANK DISC」表示が出る)。	他のディスクと取り換える。
	表示窓のディスク表示が早く回 転しているときは操作を受け付 けられません。	-
ふたが開かない	使用中、衝撃や過大な静電気、 落雷による電源電圧の異常など のために強いノイズを受けた。	次の手順で操作し直す。 1 すべての電源をはずす。 2 約30秒間そのままにする。 3 電源をつなぐ。
	ふたロックが解除されていない。	充電電池や乾電池を交換するか、ス テーションに取りつけてから、聞 くスイッチを操作する。

症状	原因	処置
通常の再生ができない	リピート再生を指定した。	モードボタンを押して、◀ (リピート) 表示が消えてから再生を始める (19ページ)。
ディスクの1曲目から再生できない	前回再生したときディスクの途中で止めた。	◀◀ ボタンを押すか、1度ふたを開けて、再生を始める位置をディスクの最初に戻す。
再生中に音がとぎれる	振動の多い場所に置いている。	連続した振動の少ない場所で使う。
	ナレーションやイントロなど1曲の録音時間が極端に短いと、音がとぎれることがあります。	-
雑音が多い	テレビなど強い磁気を帯びたものの近くに置いている。	テレビなどから離して置く。
充電ができない	電源コードが正しく接続されていない。	正しく接続しなおす (29ページ)。
録音・編集できない	音源と正しく接続されていない。	接続しなおす (27、28ページ)。
	入力切換スイッチが正しく切り換えられていない。	音源をつないだ端子に入力切換スイッチを合わせる。(27、28ページ)
	マイクがつながっていない。 (本体で録音するとき)	マイクをつなぐ。
	ディスクの誤消去防止つまみが開いている。	つまみを戻す。
	ポータブルCDプレーヤーとつないでデジタル入力で録音するときに、ポータブルCDプレーヤーを一時停止していない (「NO DIGITAL SIGNAL」表示が出る)。	ポータブルCDプレーヤーを一時停止にしてから録音する。
	録音レベルが小さすぎる(手動調節時)。	一時停止状態にして、◀◀ / ▶▶ ボタンで録音レベルを調節する (15ページ)。
	再生専用ディスクが入っている (「P/B ONLY」表示が出る)。	録音用ディスクと取り換える。
	ディスクの残り時間が12秒以下である (「DISC FULL」表示が出る)。	他の録音用ディスクと取り換える。
録音、または編集中に電源が抜かれた、または停電になった。	それまでの録音の内容は消える。初めから録音しなおす。	
頭出しマークのある位置を頭出しできない	◀◀ または ▶▶ ボタンを押してから一時停止した。	ボタンを押して一時停止してから◀◀ または ▶▶ ボタンを押して頭出ししてください。

症状	原因	処置
ヘッドホンから音が出ない	リモコン付きヘッドホンがしっかり差し込まれない。	Ⓜ / リモコンジャックにしっかり差し込む。
	音量が小さすぎる。	音量 +/- ボタン (リモコンのVOL +/- ボタン) で音量を調節する。 音声リミットスイッチを「切」にする (20ページ)。
	リモコンプラグが汚れている。	リモコンプラグをからぶきする。
時計が正確に動かない	長時間電源をはずしていたため内蔵の時計用電源が消耗している。	本体をステーションに取りつけて充電する。ただし、時計用電源が消耗していなくても月に2分程度の誤差が生じることがあります (18ページ)。
時計表示が出ない。 (--y--m--dになる)	時計合わせをしていない。	時計を合わせる (17ページ)。
録音日時が記録されない	時計合わせをしていない。	時計を合わせる (17ページ)。

システム上の制約による症状と原因

ミニディスクシステムでは、従来のカセットやDATとは異なる方式で録音が行われます。そのため、いくつかのシステム上の制約があり、次のような症状が出る場合があります。これらは、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

症状	原因
最大録音可能時間(60分、74分)に達していなくても、「TR FULL」表示が出る。	254曲録音されるとそれ以上の録音はできません。さらに曲を追加するには、不要な曲を消して録音してください。
曲数も録音時間も余裕があるのに、「TR FULL」表示が出て、録音が止まる。	同じディスクで録音、消去をくりかえすと、1曲のデータが連続して記録されず、空いているところに分割して記録されることがあります。ミニディスクは、このような場合でも離れたデータをすばやく探し出し、順に再生します。ただし、分割したそれぞれのデータは曲の区切り(1曲)と同じ扱いになり、全部で254曲になると、録音できなくなります。さらに曲を追加するには、不要な曲を消して録音してください。
頭出しマーク(曲番)が消えない。	つなごうとする曲のデータがディスク上に分散し、それぞれのデータの長さが12秒以下のとき、その曲の頭出しマーク(曲番)を消して前の曲とつなぐことはできません。
曲を消しても、ディスクの録音できる残り時間が増えない。	ディスクの録音できる残り時間を表示するとき、12秒以下の部分は無視します。このため、短い曲を何曲消しても録音できる残り時間が増えないことがあります。
ディスクに録音した時間と残り時間の合計が、最大録音可能時間(60分、74分)に一致しない。	通常、録音は約2秒を最小単位としてディスクに記録します。録音を止めたところでは、記録の最後の部分が実際には2秒に満たない場合でも2秒分のスペースを使います。また、録音を止めた後再び録音を始めるときには、録音を始めたところで約2秒分のスペースを空けて記録を始めます。これは、録音を始めるときに誤って前の曲を消さないためです。このため、実際に録音できる時間は録音を止めるたびに、最大録音可能時間よりも最大で6秒短くなります。
編集した曲を再生しながら早送り、早戻しすると、音がとぎれる。	再生しながら早送り、早戻しするときは通常より高速で再生するため、短い曲がディスク上のいろいろなところに点在していると、探すのに時間がかかり、音がとぎれることがあります。

エラー表示一覧

ステーションまたはリモコンの表示窓にエラー表示が出たら、下の表にしたがってチェックしてみてください。また、本体表示窓に $\square\square$ 、 $\square\square$ が交互に表示されたら、エラー発生中です。リモコンの表示窓のエラー表示を確認してください。

ステーション (リモコン) の表示	意味	対策
BLANK DISC (BLANK)	何も録音されていないディスクが入っている (再生時)。	他のディスクと取り換える。
CONNECTION ERROR (-)	本体のステーションへの取りつけが不完全。	しっかり取りつける。
DISC ERROR (ERROR)	異常なディスク (損傷している、録音や編集の内容などの情報が入っていない) が入っている。	ディスクを入れなおす。それでも「DISC ERROR」表示が出るときは、他のディスクと取り換える。
DISC FULL (FULL)	ディスクの残り時間が12秒以下である (録音時)。	他の録音用ディスクと取り換える。
EDIT BUSY (BUSY)	録音または編集の内容の処理をしている。	しばらくお待ちください。まれに2~3分ほどかかる場合があります。
HOLD (-)	ホールド機能が働いている。	HOLDスイッチを矢印と逆の方向にしてホールド機能を解除する (22ページ)。
- (LoBATT)	電池が消耗した。	新しい乾電池と入れ換えるか、充電電池を充電しなおす (29~32ページ)
MEMORY OVER (MEMORY)	音声データが大きくなって新たに録音できない。	他の録音用ディスクと取り換える。
NO DIGITAL SIGNAL (-)	デジタル入力信号が途切れた。	デジタル入力の接続を確かめる。アナログ入力するときは無視する。
NO DISC (NoDISC)	ディスクが入っていない。	ディスクを入れる。
NO MIC (NoMIC)	何も接続しないで録音しようとした。	本体をステーションにセットするか、本体にマイクをつなぐ。
P/B ONLY (PbONLY)	再生専用ディスクが入っている (録音・編集時)。	録音用ディスクと取り換える。
PROTECTED DISC (SAVED)	ディスクが誤消去防止状態になっている。	誤消去防止つまみを戻す。
PROTECTED TRACK (TrPROT)	トラックプロテクト (曲の誤消去防止) がかかっている曲に録音・編集をしようとした。	他の曲で録音・編集してください。

ステーション (リモコン) の表示	意味	対策
SCMS NO COPY (-)	シリアルコピーマネージメントシステム (SCMS) によりダビングは禁止されている。	アナログ入力 (ライン) を使って録音する (28ページ)。
SORRY (SORRY)	ディスクの1曲目の頭で、頭出しマークを消そうとした。または、種類の異なる曲と曲の頭出しマークを消そうとした。例えばステレオ録音された曲とモノラル録音された曲の頭出しマークを消そうとした。	-
TEMPERATURE OVER (TEMP)	本機の温度が高くなりすぎた。	涼しいところで本機をしばらく休ませてから使う。
TRACK FULL (TrFULL)	曲番が254を超えた。	曲番を削除して254以下にする。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

- 調子が悪いときはまずチェック
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
- それでも具合の悪いときはサービスへ
お買い上げ店、または添付の「ソニーサービスご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニー相談窓口にご相談ください。
- 保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

- 部品の保有期間について
当社ではポータブルミニディスクレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障個所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

主な仕様

ミニディスク

形式

ミニディスクデジタルオーディオシステム

録音方式

磁界変調光学方式

再生読み取り方式

非接触光学読み取り (半導体レーザー使用)

レーザー

GaAlAsダブルヘテロダイオード、
=780nm

録音再生時間

最大148分 (MDW-74使用、モノラル録音、再生時)

最大74分 (MDW-74使用、ステレオ録音、再生時)

回転数

約400rpm~900rpm (CLV)

エラー訂正方式

アドバンスドクロシンターリーブリードソロモンコード (ACIRC)

サンプリング周波数

44.1kHz

コーディング

アダプティブトランスフォームアコースティックコーディング (ATRAC)

変調方式

EFM

チャンネル数

ステレオ2チャンネル
モノラル1チャンネル

周波数特性

20~20,000Hz±2dB

ワウフラッター

測定限定値以下

本体

入力端子

マイク：ステレオミニジャック、入力レベル0.22~0.78mV

出力端子

ヘッドホン：ステレオミニジャック、最大出力レベル5mW+5mW、負荷インピーダンス16

ステーション

入力端子

入力 (アナログ)：ピンジャック、入力レベル69~194mV

デジタル (光) 入力：角形光コネクタ
ー、発光波長660nm

出力端子

出力：ピンジャック、規定出力レベル194mV、負荷インピーダンス10k以上

デジタル (光) 出力：角形光コネクタ
ー、規定出力レベル12dBm、発光波長660nm

ヘッドホン：ステレオジャック、最大出力レベル5mW+5mW、負荷インピーダンス16

サンプリングレートコンバーター

入力：32kHz/44.1kHz/48kHz

出力：44.1kHz

電源・その他

電源

本体:

充電式リチウムイオン電池

LIP-12 (H) (付属)

充電式ニッケル水素電池

BP-DM20 (別売)

乾電池 アルカリ単3形2本 (別売)

ステーション:

AC 100V 50/60Hz

電池持続時間

「各電池の持続時間」(32ページ) 参照

最大外形寸法

本体 約116×23×78mm

ステーション 約248×51×149mm

(幅/高さ/奥行き、最大突起部を含まず)

質量

本体 約210g

本体使用時 約300g (録音用ミニディスク、リモコン付きヘッドホン、充電

電池LIP-12 (H) を含む)

ステーション 約970g

付属品

電源コード (1)

リモコン付きヘッドホン (1)

充電式リチウムイオン電池 (1)

電池ケース (単3型アルカリ乾電池/充電

式ニッケル水素電池用) (1)

キャリングポーチ (1)

取扱説明書 (1)

ソニーご相談窓口のご案内 (1)

保証書 (1)

別売りアクセサリ

バッテリーチャージャー (LIP-12用)

BC-LIP12

バッテリーチャージャー (BP-DM20

用) BC-DM20

リチウムイオンバッテリーパック (充電

式リチウムイオン電池) LIP-12

充電式ニッケル水素電池BP-DM20

光デジタルケーブル

光角形プラグ↔光ミニプラグPOC-5/

10/15AB

光角形プラグ↔光角形プラグ

スタンダードシリーズPOC-5/10/15A

Eシリーズ

Hシリーズ

カーコネクティングバックCPA-8

ステレオマイクロホンECM-717、

ECM-909A

ステレオヘッドホンMDR-D77/D55、

MDR-CD470

アクティブスピーカーSRS-A91

ミニディスク (生ディスク) プリズムシ

リーズMDW-60A/74A、カラーコレク

ションシリーズ、ベーシックシリーズ

ミニディスクキャリングケースCK-

MD4

ミニディスク・ファイリングボックス

CK-MD10

本機は、ドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

解説

ここでは、技術用語やミニディスクの特徴的な動作について解説します。

ミニディスクとは

直径64mmのディスクをカートリッジに収めたデジタルメディア、それがミニディスク (MD) です。大きさはコンパクトディスク (CD) の約半分ですが、録音時間はほぼ同じ。音質においても、音声圧縮技術ATRAC (Adaptive Transform Acoustic Coding) により、CDに迫る高音質を実現しています。また、カートリッジに入っているため、指紋や傷がつきにくく、取り扱いが手軽です。

「TOC EDIT」とは

TOCとはTable Of Contentsの略で、音声以外の情報を記録する、ミニディスク上の領域です。どの曲が何曲目で、ディスクのどこにあるかなどを記録しています。ミニディスクが本だとすると、索引や目次にあたります。

録音やトラックマークの記録・削除、曲の移動などのさい、ミニディスクレコーダーはTOCの書き換え作業を行います (TOC EDITが表示されます)。この間はディスクへの記録をしていますので、衝撃を与えたり、電源を抜いたりしないでください。記録が正しく行われないばかりか、ディスクの内容が失われることがあります。

サンプリングレートとは

サンプリングレートとは、1秒間の音声をどれだけの量のデジタル信号にするかを表わす数値です。一般に数値が大きいくほど高音質になります。サンプリングレートの異なる機器同士では、通常デジタル信号によるダビングはできません。これを可能にするのが、サンプリングレートコンバータです。コンバータは、デジタル信号を他のサンプリングレート用のデジタル信号に変換します。本機はステーションにこのコンバータを内蔵しています。ステーションの光デジタル入力端子に入ってきたサンプリングレートの異なる信号 (BSチューナー:32kHz, DAT:48kHzなど) は、コンバータによって、MDのサンプリングレート (44.1kHz) 変換されて録音されます。

MDの曲番のつきかた

CDなど曲番のついたメディアから録音した場合、レコーダーは次のような条件で曲番を作成し記録します。
デジタル入力からの録音 入力ソースのトラック番号が変化したとき
アナログ入力からの録音 2秒間以上無音状態が続き、その後音声が入ってきたとき。

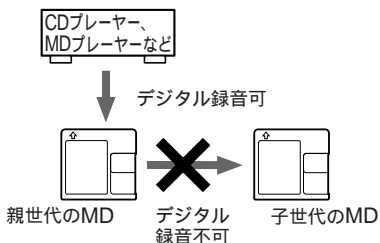
なお、CDで「-0:03」から新しい曲番が始まっているときは、0:00になった時点でMDに新しい曲番が記録されます。

次ページへつづく

その他

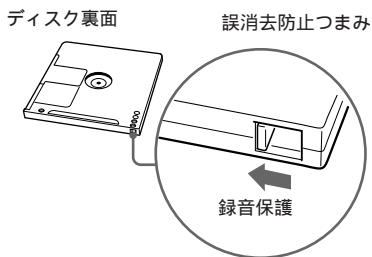
デジタル録音の制限について

本機は、音楽ソフトの著作権を保護するため、「シリアルコピーマネジメントシステム (SCMS)」に準拠しています。光デジタル入力端子から録音したミニディスクは、さらに他の機器でデジタル録音することはできません。デジタル入力で録音したミニディスクを別のミニディスクに録音するには、アナログ入力(ライン)を使ってください。



録音したものを誤って消さないために

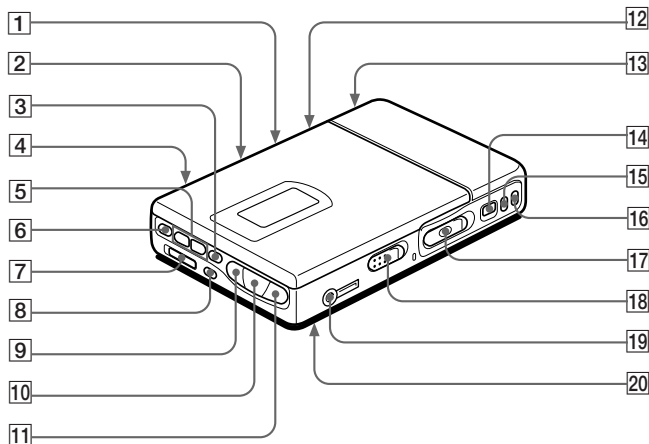
誤消去防止つまみをずらして穴が開いた状態にします。再び録音するときはつまみをもとに戻します。



各部のなまえ

()内のページに詳しい説明があります。

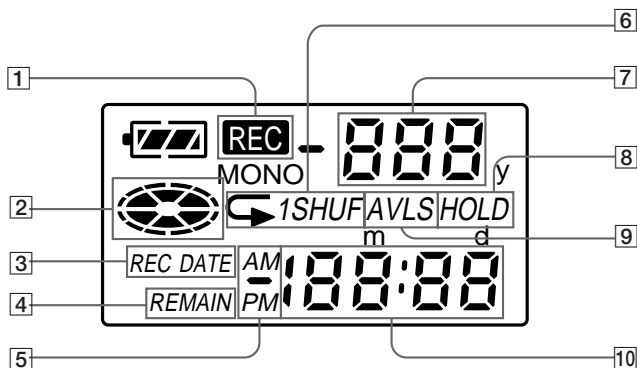
本体



- | | |
|---------------------------------|--------------------------|
| 1 音量リミットスイッチ(背面)
(20) | 10 ▶(再生)ボタン(11、13、19) |
| 2 マイク感度スイッチ(背面)(14) | 11 ▶▶(早送り)ボタン(11、13、19) |
| 3 ■(停止)ボタン(11、13、19) | 12 低音調整スイッチ(背面)(20) |
| 4 マイク(プラグインパワー)ジャック
(背面)(14) | 13 電池入れ(背面)(30) |
| 5 音量 - / + ボタン(13) | 14 (一時停止)ボタン(11、13、19) |
| 6 モードボタン(14、19) | 15 エンドサーチボタン(11) |
| 7 ホールドスイッチ(22) | 16 トラックマークボタン(24) |
| 8 表示ボタン(16、21) | 17 録音スイッチ(11) |
| 9 ◀◀(早戻し)ボタン(11、13、
19) | 18 開くスイッチ(10) |
| | 19 📶/リモコンジャック(12) |
| | 20 時計合わせボタン(底面)(17) |

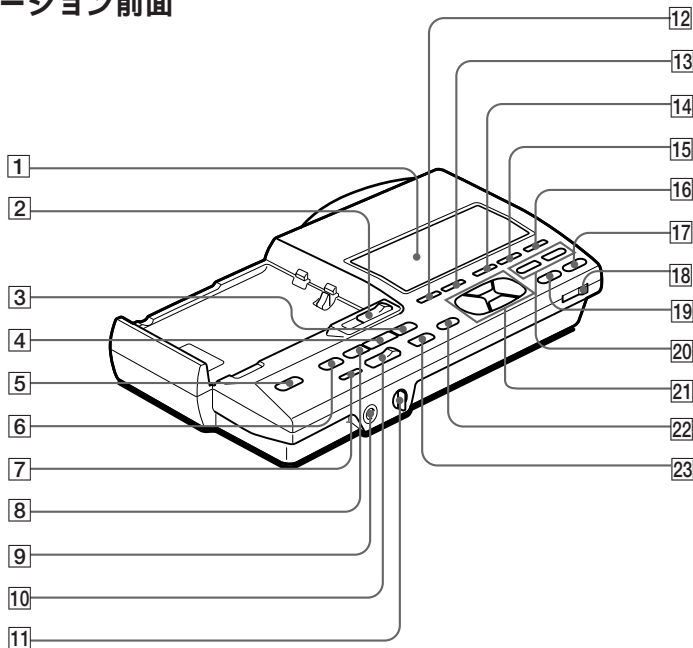
その他

本体表示窓



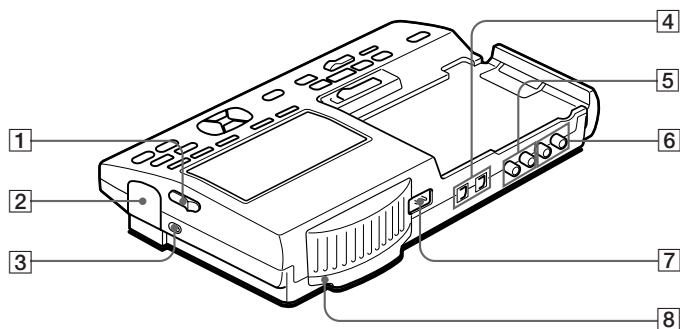
- 1 録音表示
録音時に表示されます。録音一時停止のときは点滅します。
- 2 ディスク表示
録音、再生、編集のとき、ディスクが回転していることを示します。
- 3 REC DATE表示(16、21)
表示窓に録音日時が出ているときに表示されます。現在の日時が出ているときは「DATE」が表示されます。
- 4 REMAIN表示(16、21)
ディスクの残り曲数、ディスクや曲の残り時間を表示していることを示します。
- 5 午前/午後表示(16、21)
時刻が12時間表示のときに表示されます。
- 6 再生状態表示(19)
ディスクの再生状態を表示します。
- 7 曲番号表示
再生中の曲番号などを表示します。
- 8 HOLD表示(22)
本体のホールド機能がはたらいているときに表示されます。
- 9 AVLS表示(20)
音量リミット機能がはたらいているときに表示されます。
- 10 時刻/時間表示(16、21)
録音時刻、現在時刻、曲の再生時間、曲やディスクの残り時間を示します。

ステーション前面



- | | |
|-------------------------------|---|
| 1 表示パネル | 11 音量つまみ |
| 2 本体取りはずしスイッチ(12) | ヘッドホン端子につないだヘッドホンの音量を調節します。本体のヘッドホンとは別々に音量を調節できません。 |
| 3 ►►(早送り)ボタン(11、13、19) | 12 表示ボタン(16、21) |
| 4 ►(再生)ボタン(11、13、19) | 13 モードボタン(14、19) |
| 5 電源スイッチ | 14 トラックマークボタン(24) |
| 6 ■ 停止ボタン(11、13、19) | 15 ムーブ/挿入ボタン(26) |
| 7 エンドサーチボタン(11) | 16 消去/削除ボタン(23、26) |
| 8 ◀◀(早戻し)ボタン(11、13、19) | 17 タイトル/登録ボタン(26) |
| 9 ヘッドホン端子 | 18 入力切換スイッチ(10) |
| 標準ジャックのヘッドホンを接続できます。 | 19 確定ボタン(26) |
| 10 録音スイッチ(11) | 20 記入位置 / ボタン(26) |
| | 21 カーソルボタン(26) |
| | 22 カナ/英/記号/文例ボタン(26) |
| | 23 ■(一時停止)ボタン(11、13、19) |

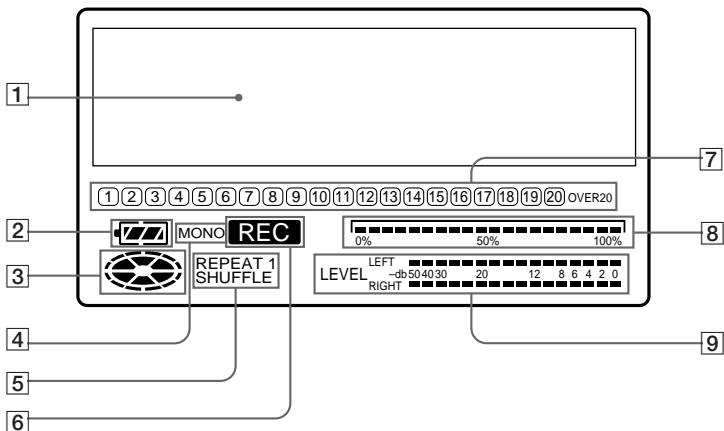
ステーション背面



- 1 充電電池取り出しスイッチ(30)
- 2 充電電池入れ(30)
- 3 充電ランプ(31)
ステーションに入っている充電電池を
充電しているときに点灯します。

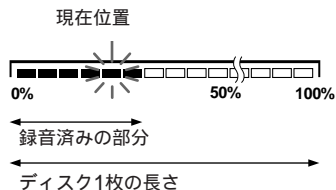
- 4 デジタル(光)入出力端子(27、
28)
- 5 入力(右/左)端子(28)
- 6 出力(右/左)端子(29)
- 7 電源入力端子(29)
- 8 時計合わせボタン(17)

ステーション表示パネル



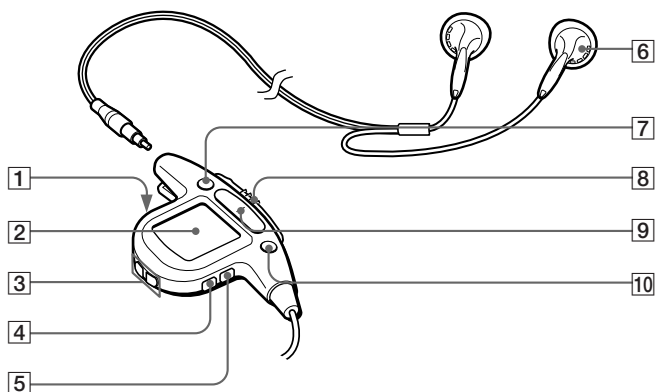
- ① 文字情報表示部 (16、21)
ディスク名や曲名、日付、エラー表示、曲番などが文字で表示されます。
- ② 電池表示 (30、32)
本体に充電が入っているときや充電を充電しているときに表示します。
- ③ ディスク表示
録音、再生、編集のとき、ディスクが回転していることを示します。
- ④ MONO表示
モノラル録音時や、モノラル録音されたディスクを再生時に表示されます。
- ⑤ 再生状態表示 (20)
ディスクの再生状態を表示します。

- ⑥ 録音表示
録音時に表示されます。録音一時停止のときは点滅します。
- ⑦ ミュージックカレンダー
ディスクに録音されている曲数やシャッフルリピート演奏時の残り曲などが表示されます。
- ⑧ ポジションポインター
ディスク上の操作位置を確認できません。現在録音または再生中の部分が点滅します。



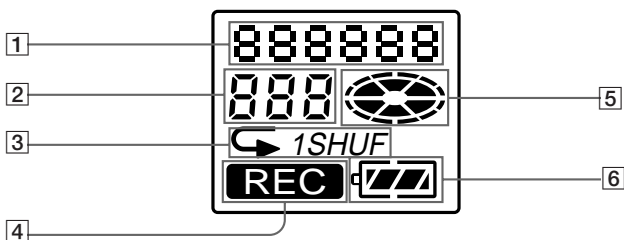
- ⑨ ピークレベルメーター

リモコン付きヘッドホン



- 1 TRACK MARKボタン (24)
- 2 表示窓 (16、21)
- 3 VOL (音量) + / - ボタン
- 4 DISPLAY (表示) ボタン (17、22)
- 5 PLAY MODE (再生モード) ボタン (19)
- 6 ヘッドホン
別売りのマイクロプラグ付きヘッドホンに付け替えられます。
- 7 ■ (一時停止) ボタン (11、13、19)
- 8 HOLDスイッチ (22)
リモコンのボタンがはたらかなくなり、誤操作を防ぎます。
- 9 ▶ (再生) / ◀◀ / ▶▶ (頭出し、早戻し / 早送り) ボタン
停止時に押すと ▶ (再生)、再生中に ▶▶ 側を押すと頭出し、早送り、再生中に ◀◀ 側を押すと頭出し、早戻しとなります。
- 10 ■ (停止) ボタン (11、13、19)

リモコン表示窓



- 1 文字情報表示部(16、21)
ディスク名や曲名、日付、経過時間
などが文字で表示されます。
- 2 曲番号表示
再生中の曲番号などを表示します。
- 3 再生状態表示(20)
ディスクの再生状態を表示します。
- 4 録音表示
録音時に表示されます。録音一時停
止のときは点滅します。
- 5 ディスク表示
録音、再生、編集のとき、ディスク
が回転していることを示します。
- 6 電池残量表示(30、32)
充電池や乾電池の残量を表示しま
す。

Operating Instructions

Welcome!

Welcome to the world of the MiniDisc!
Here are some of the capabilities and features you'll discover with the new MiniDisc Recorder.

- MiniDisc station — This model consists of a portable MD recorder and a detachable station. You can record programs in digital signals or label tracks by attaching the recorder to the station. You can also play MDs or record programs from the MIC jack only with the recorder.
- Optical digital IN/OUT jack — Since the signal is transmitted in digital form, you can get high quality recordings.
- Sampling rate converter — This circuit enables you to record programs from digital equipment using other sampling rates, such as a BS tuner or DAT deck.
- Long recording with monaural sound — You can record up to 148 minutes on a disc using monaural recording.
- Easy editing with the station's LCD panel — You can label MDs easily using the 20 characters × 4 lines LCD panel and cursor keys on the station.
- Title samples — This model offers 42 samples of words and phrases that are frequently used for the title of a disc or track.
- "Kana" characters available — You can enter "Katakana" characters for a title of the disc or the track.
- Position pointer — The display shows you the current location on the disc.
- Date and time stamp function — The built-in clock allows you to record the date and time whenever you make a recording.
- Title function — You can see disc and track titles in the display while you are playing/recording an MD.

Looking at the controls

The numbers are keyed to the illustrations in the Japanese text (pages 45 to 51).

The recorder

- 1 音量リミット (AVLS=Automatic Volume Limiter System) switch
Slide to "入"(ON) to limit the maximum volume.
- 2 マイク感度(Mic sensibility) switch.
- 3 ■停止 (stop) button
- 4 マイク (プラグインパワー) (mic plug in power) jack
- 5 音量(volume) -/+ buttons
- 6 モード (mode) button
Each time you press here while playing an MD, the recorder plays the MD in a different play mode: normal play, all repeat, single repeat, or shuffle repeat. Press here while recording to select monaural recording.
- 7 ホールド (hold) switch
Slide to the controls of the recorder.
- 8 表示 (display) button
Press to display the current play mode, the remaining time of the current track, the remaining time of the disc, or the recording date and time.
- 9 ◀◀ (search/AMS) button
- 10 ▶▶ (play) button
- 11 ▶▶▶ (search/AMS) button
- 12 低音調整(Bass boost) switch
Select to emphasize bass sound.
- 13 Battery compartment
- 14 || (pause) button
- 15 エンドサーチ (end search) button
- 16 トラックマーク (track mark) button
- 17 録音 (record) switch
- 18 開く (open) switch
- 19 ◯/リモコン (headphones/remote) jack
- 20 時計合わせ (clock set) button (at the bottom)

The display window of the recorder

- 1 REC indication
Lights up while recording. When flashing, the recorder is in record standby mode.
- 2 Disc indication
Shows that the disc is rotating for recording, playing or ending an MD.
- 3 REC DATE (recorded/current date) indication
Lights up along with the date and time the MD was recorded. When only "DATE" lights up, the current date and time are displayed.
- 4 REMAIN (remaining time/tracks) indication
Lights up along with the remaining time of the track, remaining time of the MD, or remaining number of tracks.
- 5 AM/PM indication
Lights up along with the time indication in the 12-hour system.
- 6 Play mode indication
Shows the play mode of the MD.
↶ (all repeat): All tracks play repeatedly.
↶ 7 (single repeat): One track plays repeatedly.
↶ SHUF (shuffle repeat): Tracks will be repeated in random order.
- 7 Track number indication
Shows the track number current playing.
- 8 HOLD indication
Lights up when the HOLD switch is set on.
- 9 AVLS indication
Lights up when the 音量リミット switch is set on.
- 10 Time display
Shows the elapsed time of the track being recorded or played.

Front panel of the Station

- 1 Display window
- 2 本体取りはずし (detach the recorder) switch
- 3 ▶▶ (search/AMS) button

- 4 ▶ (play) button
- 5 電源 (power) switch
- 6 ■停止 (stop) button
- 7 エンドサーチ (end search) button
- 8 ◀◀ (search/AMS) button
- 9 Headphones jack for stereo plug
- 10 録音 (record) switch
- 11 音量 (volume) dial
Adjust the volume of HEADPHONE jack on the station, not the recorder.
- 12 表示 (display) button
- 13 モード (mode) button
- 14 トラックマーク (track mark) button
- 15 ムーブ/挿入 (move/insert) button
- 16 消去/削除 (erase/delete) button
- 17 タイトル/登録 (title/enter) button
- 18 入力切換 (input) switch
- 19 確定 (enter) button
- 20 記入位置 / (position) buttons
- 21 Cuarsor buttons
- 22 カナ/英/記号/文例 (Katakana/English/symbols/title samples) button
- 23 || (pause) button

Back panel of the Station

- 1 充電池取り出し (open the lid) switch
- 2 Rechargeable battery compartment
- 3 Charger lamp
Lights up while charging the rechargeable battery on the station.
- 4 デジタル (光) 入出力 (optical/line in/out) jack
- 5 入力 (line in) jack
- 6 出力 (line out) jack
- 7 電源入力 (DC input) jack
- 8 時計合わせ (clock set) button

The display window of the station

- 1 Character information display
Displays the disc and track names*, date, error messages, track numbers, etc.
*Disc and track names appear only with MDs that have been electronically labeled.
- 2 Battery indication
Shows battery condition. While charging the rechargeable battery, this indication shows the charging condition.

- 3 Disc indication
Shows that the disc is rotating for recording, playing or editing an MD.
- 4 MONO (monaural) indication
- 5 Play mode indication
Shows the play mode of the MD.
◀ (all repeat): All tracks play repeatedly.
◀ 1 (single repeat): One track plays repeatedly.
◀ SHUF (shuffle repeat): Tracks will be repeated in random order.
- 6 REC (record) indication
Lights up while recording. When flashing, the recorder is in record standby mode.
- 7 Music calendar
Display number of tracks recorded in MD, remaining tracks during shuffle play.
- 8 Position pointer
Shows the current location on the MD. The point under recording or playing flashes. The recorded position lights up.
- 9 Peak level meter
Shows the volume of the MD being

The headphones with a remote controller

- 1 TRACK MARK button
- 2 Display window
- 3 VOL (volume) +/- buttons
When the AVLS switch is set on, you cannot increase the volume to the maximum. To increase the volume above the limited level, set the AVLS switch to off.
- 4 DISPLAY button
Press to display the current play mode, the remaining time of the current track, the remaining time of the disc, or the recording date and time.
- 5 PLAY MODE button
- 6 Headphones
Can be replaced with optional headphones.
- 7 || (pause) button
- 8 HOLD switch
Slide to lock the controls of the remote controller.

- 9 ▶ (play)/◀◀/▶▶ (search, AMS) buttons
Press ▶ to play. While playing, press the ◀◀ side to find the beginning of the current or preceding tracks or to search backward, or press the ▶▶ side to find the beginning of the succeeding tracks or to search forward.
- 10 ■ (stop) button

The display window of the remote controller

- 1 Character information display
Displays the disc and track names, date, error messages, track numbers, etc.
- 2 Track number indication.
Shows number of the track being recorded or played.
- 3 Play mode indication
Shows the play mode of the MD.
- 4 REC (record) indication
Lights up while recording. When flashing, the recorder is in record standby mode.
- 5 Battery indication
Shows battery condition. While charging the rechargeable battery, this indication shows the charging condition.
- 6 Disc indication
Shows that the disc is rotating for recording, playing or editing an MD.

▶ MD recording

Recording an MD right away!

See the illustrations in the Japanese text (page 10 to 11).

This section introduces how to record programs from input of the station. Refer to "Connecting to a stereo system" and make the necessary connections. If you want to record programs from **マイク (プラグインパワー)** (mic plug in power) jack of the recorder, see "Recording from a microphone".

- 1 Attach the recorder to the station.
 - ① Place the right side of the recorder.
 - ② Push down until it clicks. Make sure to attach the recorder in the right way. Pushing with force may cause a malfunction.
- 2 Insert a recordable MD.
 - ① Slide the 開く (open) switch and open the lid.
 - ② Insert a recordable MD with the label side facing up, and press the lid down to close.
- 3 Select the input source.
Set 入力切換 (input select) switch to the connected input.
Select "デジタル (光)" to record signals from デジタル (光) 入力 (OPTICAL IN).
Select "アナログ" to record signals from 入力(LINE IN).
- 4 Select recording start point.
If you want to add a recording to the end of the previous recording, press エンドサーチ (end search).
(If you want to start recording from the beginning, skip this step).
- 5 Start recording.
 - ① Slide the 録音 (record) switch to the right while pressing its button.
"REC" lights up and recording starts.
 - ② Play the sound source.

To stop recording, press ■.

Do not move or jog the recorder or disconnect the power source while the "TOC EDIT" indication is flashing in the display.

To	Press
Pause	■* Press ■ again to resume recording.
Record over partway through the previous recording	▶, ▶▶ or ◀◀ to find the start point of recording and press ■ to stop. Then slide the 録音 (record) switch.
Remove the MD	■, then slide the 開く (open) switch and open the lid.**
Turn power off	電源(Power)

* A new track mark is added at the point where you pressed ■, and the recording will be marked with the new track number when you resume recording.

** Once you open the lid, the point to start recording will change to the beginning of the first track. When recording on a recorded MD, check the point to start recording on the display.

If the recording does not start

Make sure the MD is not record-protected. If the tab at the side of the MD is open, slide it back so the tab is visible.

▶MD playing

Playing an MD right away!

See the illustrations in the Japanese text (pages 12 to 13). The following explains how to play MDs on the recorder while detached from the station.

Before playing, insert the dry batteries or rechargeable battery into the recorder (see page 30).

- 1 Detach the recorder from the station.
 - ① Slide the 本体取りはずし (detach recorder) switch.
 - ② Connect the remote controller-equipped headphones (supplied) to the ◯/リモコン jack.
- 2 Insert an MD.
 - ① Slide the 開く (open) switch and open the lid.
 - ② Insert an MD with the label side facing up, and press the lid down to close.
- 3 Start playing.
 - ① Press ▶.
A short beep sounds in the headphones.
 - ② Press the 音量 (volume) -/+ buttons to adjust the volume. You can check the volume in the display.

To stop play, press ■.

A long beep sounds in the headphones.

To	Press (Beeps in the headphones)
Pause	■ (Continuous short beeps) Press ■ again to resume play.
Find the beginning of the current track	◀◀ once (Three short beeps)
Find the beginning of the next track	▶▶ once (Two short beeps)
Go backwards while playing*	keep pressing ◀◀
Go forward while playing*	keep pressing ▶▶
Remove the MD	■, then slide the 開く (open) switch and open the lid.**

* To go backwards or forward quickly without listening, press ■ and keep pressing ◀◀ or ▶▶.

** Once you open the lid, the point to start play will change to the beginning of the first track.

Tip

The recorder automatically switches to play the stereo or monaural sound according to the recorded sound.

If the playback does not start

Make sure the recorder is not locked. If it is locked, slide the ホールド (hold) switch in the opposite direction of the arrow.

About playing while attached to the station

See "Playing an MD on the station" (page 58)

► Various ways of recording

Recording from a microphone

See the illustration in the Japanese text (page 14).

Connect a microphone to the マイク (プラグインパワー) (mic plug in power) jack. Use a stereo microphone ECM-909A, ECM-717, etc., not supplied).

- 1 Select the input level with the マイク感度 (Mic sensibility) switch. Usually, set it to 高 (high). When you record loud sound such as an live, set it to 低 (low).
- 2 Insert a recordable MD. Slide the 開く (open) switch to open the lid, insert a recordable MD, and close the lid.
- 3 Slide the 録音 (record) switch to the right while pressing its button. "REC" lights up and recording starts.

Note

You can record from a microphone attached to the station. Set the 入力切換 (input select) switch to "アナログ (analog)", and press the 録音 (record) button on the station.

Recording in monaural for double the normal recording time of an MD

See the illustration in the Japanese text (page 14).

Before recording, make connections to the sound source and the power source, and insert a recordable MD. You can operate in the same way on the station as on the recorder.

- 1 While pressing ■, slide the 録音 (record) switch to the right. The recorder enters record standby mode.
- 2 Press the モード (mode) button. "Mono REC" appears in the display, and the recorder switches to monaural recording.

- 3 Press **II** again to start recording.
- 4 Start the sound source.

Tips

- The recorder switches back to stereo recording when you press **■** to stop recording.
- If you record in monaural from a stereo source using a digital cable, only the left channel sound of the source will be recorded.
- The MDs recorded in monaural can be played back only with an MD player/recorder that has the monaural playing function.

Adjusting the recording level (Manual recording)

See the illustration in the Japanese text (page15).

When you record with a microphone or analog input, the sound level is adjusted automatically. If necessary, you can set the level manually. You can operate in the same way on the station as on the recorder.

- 1 While holding down **II**, hold the 録音 (record) switch to the right for more than 2 seconds.
"ManualREC" appears, and the recorder enters record pause mode. To return to automatic control, while the recorder is in record pause mode, hold the 録音 (record) switch to the right for more than 2 seconds.
- 2 Play the source.
- 3 While observing the level meter in the display, adjust the recording level by pressing **▶▶** (+) or **◀◀** (-).
Set the level to around 12 (-12dB) on the station or until 4 lines appear on the recorder.
- 4 Press **II** again to start recording.

Tips

- The recorder switches back to automatic control when you press **■** to stop recording.
- The recording level should be adjusted while the recorder is in standby mode. You cannot adjust it while recording.
- Select the input level with the マイク感度 (Mic sensibility) switch if you record sound from マイク (プラグインパワー) (Mic) jack.

Setting the clock to stamp the recorded time

See the illustrations in the Japanese text (page17).

To stamp the date and time on the MD when you record, you need to set the clock. The recorder and the station each have a clock. The time of the recorder is copied to the clock of the station when you attach the recorder to the station.

- 1 Press 時計合わせ (clock set) button at the rear of the station with a pointed object. The digits of the year flash.
- 2 Enter the current year by pressing **◀◀** or **▶▶**.
To change the digits rapidly, keep pressing **◀◀** or **▶▶**.
- 3 Press **▶** or CURSOR .
The digit of the month flashes.
- 4 Repeat steps 2 and 3 to enter the current month, date, hour, and minute.
After you press **▶** to set the minutes, the clock starts operating.

If you make a mistake while setting the clock

Press **■** button and repeat the steps above. Press **▶** to locate necessary digits to be changed.

To display the time in the 24-hour system

press 表示 (display) button while setting the clock. To change the clock to the 12-hour system, press 表示 (display) again.

Charging the built-in battery for the clock

After setting the clock, leave the recorder attached to the station for about 2 hours to charge the built-in battery for the clock. Once charged, the built-in battery will last for about a month without being connected to any of the power sources. The recorder will automatically charge the built-in battery while operating on the station, a rechargeable battery or dry batteries.

► Various ways of playback

Playing an MD on the station

See the illustrations in the Japanese text (page 19).

To	Press (Beeps in the headphones)
Pause	(Continuous short beeps) Press again to resume play.
Find the beginning of the current track	◀◀ once (Three short beeps)
Find the beginning of the next track	▶▶ once (Two short beeps)
Go backwards while playing*	keep pressing ◀◀
Go forward while playing*	keep pressing ▶▶
Remove the MD	■ and open the lid.**

* To go backwards or forward quickly without listening, press || and keep pressing ◀◀ or ▶▶.

** Once you open the lid, the point to start play will change to the beginning of the first track.

Notes

- Adjust the volume with VOL (volume) -/+ button on the remote controller.
- The power turns off automatically when you leave the station for 5 minutes in the stop mode. Press 電源 (power) switch or ► button to turn on again.

Playing tracks repeatedly

See the illustrations in the Japanese text (page 19).

Press the 冪-ト (mode) button while the recorder is playing an MD. Each time you press the 冪-ト (mode) button, the play mode indication changes as follows:

"(none)" (normal play)
All the tracks are played once.



"↶" or "REPEAT" (all repeat)
All the tracks are played repeatedly.



↶ 1" or "REPEAT 1" (single repeat)
A single track is played repeatedly.



"↶ SHUF" or "REPEAT SHUFFLE" (shuffle repeat) All the tracks are played repeatedly in random order.



▶ Editing recorded tracks

You can edit your recordings. Premastered MDs cannot be edited.

Notes

- When you press ■ after erasing track marks, "TOC EDIT" flashes for about a second. Do not move or jog the recorder or disconnect the power source while the indication is flashing.
- You cannot erase track marks on an MD with the tab open for protection. Before erasing track marks, close the tab at the side of the MD

Erasing a track

See the illustrations in the Japanese text (page 23).

You can quickly erase a recorded track. Note that once a recording has been erased, you cannot retrieve it.

- 1 Play the track you want to erase.
- 2 Press the 消去/削除 (erase/delete) button while playing the track. "Erase OK? Push ERASE" appear in the display alternately, and the recorder plays the selected track repeatedly. Check the track number in the display.
To cancel erasing, press ■.
- 3 Press the 消去/削除 (erase/delete) button again to erase the track. The track is erased from the MD and the remaining tracks are renumbered. The recorder starts to play the succeeding track. If you have erased the last track of the MD, the recorder pauses at the end of the preceding track.

To erase other tracks, repeat steps 1 to 3.

To erase a part of a track

Add track marks at the beginning and the end of the part you want to erase, then erase the part.

Erasing a whole disc

See the illustration in the Japanese text (page 23).

You can erase all the tracks on a disc at a time. Note that once a recording has been erased, you cannot retrieve it.

- 1 Play the MD you want to erase and check the contents of the disc.
- 2 Press ■ to stop.
- 3 While pressing the 消去/削除 (erase/delete) button, slide the 録音 (record) switch to the right. "All Erase?" and "Push Erase" appear in the display alternately. Make sure it is the right disc to be erased.
To cancel erasing, press ■.
- 4 Press the 消去/削除 (erase/delete) button again. "TOC EDIT" flashes in the display. When erasing completes, "BLANK DISC" appears.

Insert a track mark

See the illustrations in the Japanese text (page 24).

You can insert a track mark into a track.

- 1 Press トラックマーク (track mark) button when the part that you want to insert the track mark is playing. "Track Mark ON" flashes in the display, succeeding tracks will be renumbered.

You can insert the track number while recording.

Press トラックマーク (track mark) button while recording.

Erasing a track mark

See the illustrations in the Japanese text (page 24).

When you record with analog (line) input, unnecessary track marks may be recorded. You can erase a track mark to combine the tracks before and after the track mark.

- 1 While the recorder is playing an MD, press **II** to pause.
- 2 Find the track mark you want to erase by pressing **I◀◀** or **▶▶I** slightly. "00:00" flashes in the display.
- 3 Press the **トラックマーク** (track mark) button to erase the mark. The track mark is erased and the two tracks are combined. The number of the newly combined track will be that of the first track and the succeeding tracks will be renumbered.

To erase other marks, repeat 2 and 3.

Moving recorded tracks

See the illustrations in the Japanese text (page 25).

You can change the order of the recorded tracks.

- 1 Play the track you want to move.
- 2 While playing the track you want move, press the **ムーブ/挿入** (move/insert) button. The recorder plays the selected track repeatedly.
- 3 Press the **CURSOR** button to select the new track position.
- 4 Press the **タイトル/登録** (title/enter) button again. Moving is completed and the recorder plays the moved track.

Labeling recordings

See the illustration in the Japanese text (page 26).

You can label the MDs and tracks you recorded with letters, numbers, and marks. Each label can be made up of up to 200 characters, and each MD can include up to 1700 character.

- 1 To label a track, play the track you want to label. To label an MD, insert the recordable MD you want to label. If an MD is already inserted, press **■** to stop.
- 2 Press the **タイトル/登録** (title/enter) button on the recorder. A set of characters appears on the display. To select a different set of characters, press the **カナ/英/記号/文例** (Katakana/English/symbols/title samples) button to change the display. Each time you press this button the display changes in the order of katakana characters, English letters, symbols, and title samples. When playing a track, the recorder plays the track repeatedly.
- 3 Press the **CURSOR** button to select a character. The **CURSOR** button moves the cursor up/down or right/left. The **記入位置 /** (position) button moves the cursor right or left. Press the **確定** (enter) button to finalize your selection. Press the **ムーブ/挿入** (move/insert) button for a space. Press the **消去/削除** (erase/delete) button to delete a character. Press **■** to stop labeling.
* When you use Katakana, press the **CURSOR /** to change the display as follows:
「ア」「カ」「サ」「タ」
- 4 Repeat step 3 until you have entered all the characters for the label.
- 5 Press the **タイトル/登録** (title/enter) button to finish labeling.

To cancel labeling

Press ■.

To use the title samples

There are 42 samples available for the disc name or message.

Press the CURSOR / to change the pages.

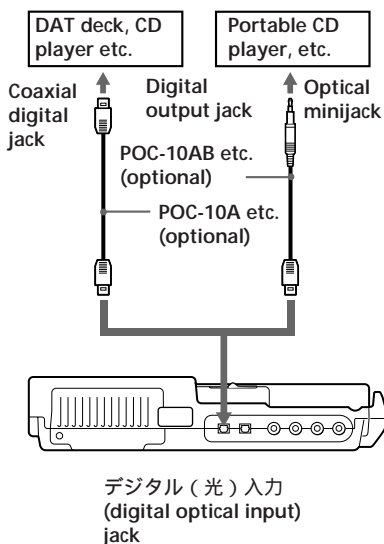
Press the CURSOR / to move the

CURSOR(>)up or down.

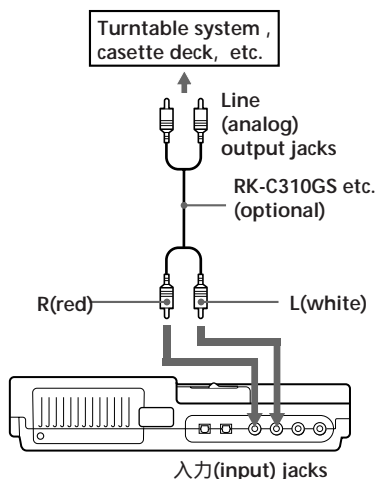
Press the 確定 (enter) to enter the title samples.

▶ Hooking up

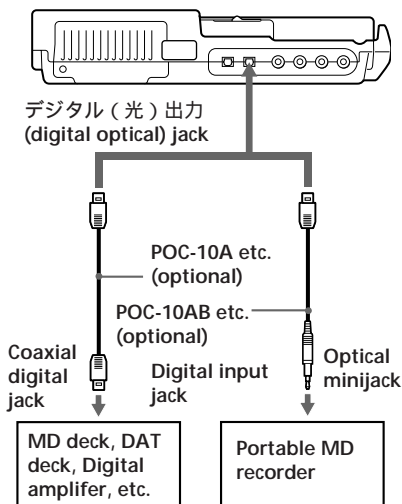
Set up for digital recording on the station



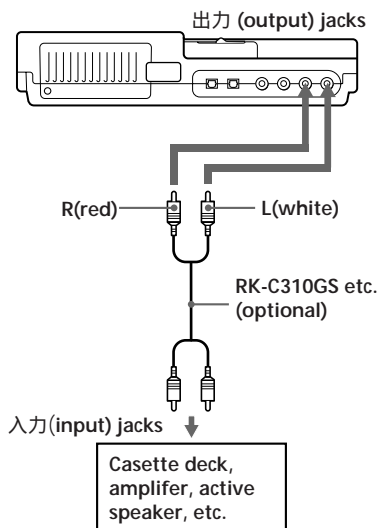
Set up for digital recording on the station.



Set up for digital out put from the station



Set up for analog output from the station



▶ Power sources

Using on house current

See the illustration in the Japanese text (page 29)

Using on a lithium ion rechargeable battery

See the illustrations in the Japanese text (page 30).

You can charge the LIP-12(H) lithium ion rechargeable battery (supplied) on the recorder.

- 1 Connect the station to an electrical outlet.
- 2 Insert the LIP-12(H) to the recorder and close the lid.
- 3 Attach the recorder to the station. The battery will charge whether the power is on or off.

To charge the battery on the station.

- 1 Slide the 充電池取出し (open the lid) switch to open the lid.
- 2 Insert the battery and close the lid. When charging is completed, the charger lamp goes out.

Using on dry batteries/nickel metal hydride rechargeable battery

See the illustrations in the Japanese text (page 31).


Before using a nickel metal hydride rechargeable battery, you must charge it.

- 1 Attach the supplied battery case.
- 2 Insert two LR6 (size AA) dry batteries or a nickel metal hydride rechargeable battery with the recommended battery charger (not supplied).

Battery life

Batteries	Recording	Playback
LIP-12(H) lithium ion rechargeable battery	Approx. 4hours	Approx. 6.5hours
R6(size AA) Sony alkaline dry batteries LR6(SG) × 2	Approx. 2hours	Approx. 4hours
BP-DM20 nickel metal hydride rechargeable battery	Approx. 2hours	Approx. 3hours
LIP-12(H) +LR6(SG) × 2	Approx. 6hours	Approx. 10.5hours
LIP-12(H) +BP-DM20	Approx. 6hours	Approx. 9.5hours

When to replace the batteries

When the dry batteries or rechargeable battery are weak, flashing  or "Lo BATT" appears on display. Replace the dry batteries or charge the rechargeable battery.

► **Additional information**

Error messages

If the recorder cannot carry out an operation, error messages may flash in the display window as follows. The words in parentheses are the messages that appear on the display window of the headphone's remote commander.

BLANK DISC (BLANK):

You tried to play an MD with no recording on it.

CONNECTION ERROR (-):

The recorder is not connected to the station completely.

DISC ERROR (ERROR):

The recorder cannot read the MD (it is scratched or dirty). Reinsert the MD. If the same message still appears, replace the MD.

DISC FULL (FULL):

There is no more space on the MD (less than 12 seconds available).

EDIT BUSY (BUSY):

You tried to operate the recorder while it was accessing the recorded data.

Wait until the message goes out (in rare cases, it may take 2-3 minutes).

HOLD (HOLD):

You tried to operate the recorder with the **ホールド** (hold) switch slid in the direction of the arrow. Slide back the switch.

- (Lo BATT):

The rechargeable battery or dry batteries are weak. Charge the rechargeable battery or replace the dry batteries.

MEMORY OVER (MEMORY):

There is no more space for new data. The MD cannot be edited any further. Erase unnecessary tracks before editing.

NO DIGITAL SIGNAL (-):

The recorder could not detect digital input signals. Make sure that the source is connected firmly and that it has the same sampling frequency as the recorder (44.1kHz). When recording from a portable CD player, set it to pause mode and then start recording. If the message appears

while recording, press **■** to end recording.

NO DISC (No DISC):

You tried to play or record with no disc in the recorder.

NO MIC (No MIC):

There is no sound source for recording.

P/B ONLY (Pb ONLY):

You tried to record or edit on a premastered MD (Pb means playback).

PROTECTED DISC (SAVED):

You tried to record or edit on an MD with its tab in the record-protect position.

PROTECTED TRACK (Tr PROT):

You tried to record over or edit a track which has been protected from being recorded over.**

SCMS NO COPY (-):

You tried to make a copy from a disc that is protected by the Serial Copy Management System. You cannot make copies from a digitally connected source which was itself recorded using the digital connection. Use the analog connection instead.

SORRY (SORRY):

You tried to erase a track mark while playing the MD or at the beginning of the first track.

You tried to erase a track mark to combine tracks the recorder cannot combine.*

TEMPERATURE OVER (TEMP):

Heat has built up in the recorder. Wait until the recorder cools down.

TRACK FULL (Tr FULL):

You tried to enter more than 200 characters for track or disc name or, the characters entered in an MD are more than 1700.

* If you have recorded or erased many times on the same MD, the data of a single track may be scattered throughout the MD. When the data is scattered in groups of less than 12 seconds long, the recorder will not be able to combine the tracks.

** Track-protected MiniDiscs — Some MD recorders will let you protect individual tracks from being recorded over. This recorder, however, does not offer this feature.